

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和6年5月20日発行

No.150



(蛇石)

今年の春は全力疾走で通り過ぎた感じがします。つい数日前まで雪が降り暖房をつけていたと思えば、暖かくなり花が咲き始めた途端、日中はもう25℃を超える暑さ。急激な気温の変化に私たちの体はもとより、地球上のすべてのものが辛い状況にあると思います。読書地区天白公園のミツバツツジの群生も美しいですが妻籠城跡付近もなかなかです。ふと、「ミツバツツジはどれくらい種類があるのかな」と思い調べてみました。すると、日本原産でアジア東部地域に約30種見つかっているそうです。「東国…」「西国…」「土佐の…」「清澄」「屋久島」「大山」「剣」「高隅」「隼人」「阿波の」「日高」など地名がついているものがほとんどですが中には「雪国」「小葉(こば)の…」といった名前も。

すべての名前はわかりませんでしたが、この中に「南木曾」が肩を並べていると思うと、なんだか誇らしい気持ちになりませんか。

小笠原 美雪

大妻籠 磯村加奈

今年で第46回を迎えた妻籠冬期大学講座「伊能忠敬の第七次測量と広重英泉の木曾街道六拾九次」に参加しました。講師は岸本豊氏、徳島出身で、軽井沢に移り住み、2005年に「中山道69次資料館」を開館し館長をされている方でした。

私が印象に残ったお話は、木曾街道（海道）の浮世絵の違う視点での解説でした。野尻の浮世絵には隠し絵が有り、伊奈川橋の形に注目すると、下に富士山が見えて来るのです！描いた英泉は北斎の弟子でも有るので、師匠を思い出して描いたのでは、とのお話でした。水の流れも北斎流の描き方で、広重とは画風が違うそうです。

大津の浮世絵は、木曾海道での広重最後の絵で、絵の中に描かれている看板の字をつなげてみると「これで全部で、大あたりでよく売れて、お金が入ってきますように」と言う思いが込められているそうです。それから絵や看板の文字で、安藤広重の名前が「HIN 道ヒロ重」と描かれているそうです（安藤は広重の本姓です）。浮世絵を見ながらではないと、上手く説明出来ないの、興味有る方は冬期大学に参加された方に尋ねて下さい。

岸本氏は、中山道を巡る他、案内人として、中山道・北国街道・伊能忠敬が歩いた長野県の道を全て歩く、長野県内の滝・湖を訪ねる、等活動をされているそうです。今回の講演前にも馬籠や男滝女滝周辺の気になる所を探索されたそうで、いつまでも探求心を持って活動する事の大切さを改めて感じました。



妻籠宿案内人の会 鈴木明子

「伊能忠敬の第七次測量と広重英泉の木曾街道六拾九次」お話は、非常に具体的で、江戸時代がとても身近に感じられました。

伊能忠敬は50才で測量を学び始め、中山道を歩いた第七次測量時は64才。14名の隊員で御用の旗を掲げていたと。行程は詳しく記載されており、木曾へは1809年11月に来ています。大桑村野尻の本陣では晴天星観察もし、その緯度は深川と同じと記載が有りますが、正確なものでした。

未知の地域を描く浮世絵は、テレビ等ない当時非常に人気があったそうです。中山道シリーズは美人画で有名な英泉で始まりましたが、人物が中心の絵で人気が出ない。そこで風景・構図の良さで人気の広重が描くようになったと。妻籠・馬籠・中津川等各地の浮世絵について一枚ずつ詳しく、興味深い説明が有りました。一枚の中にいろんなものが描かれています。

岸本先生は徳島出身。20年前に軽井沢に移住し「中山道69次資料館」をスタートさせています。中山道の江戸時代の趣を残している風景、人が好きだとおっしゃっていました。先生はこの講演の前に馬籠峠の江戸時代の旧道を確認しに行ってきたと！あくなき探求心！先生の中山道資料館も是非行ってみたいと思います。

妻籠冬期大学講座は、1977年「重要伝統的保存地区」第一号に選ばれたのを機に始まったと聞きます。今回も大勢の皆さんと一緒に楽しく学ぶことができました。妻籠冬期大学講座が長く続きますように！



1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画（南木曾町）への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習会の実施
- (6) 防災施設（専用消火栓）の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施（文化財防火デーほか）
- (8) 全国町並みゼミ等研修会への各役職員の参加・参画

2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- (1) 「一石枋立場茶屋」建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道（信濃路自然歩道）沿線の景観整備 松枯れ対応
- (4) 所有建造物の維持管理・活用及び貸与等
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託及び改修の推進

3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- (1) 「四阿」（妻籠城址・白木改番所）の維持管理
- (2) 休息施設（ベンチ等）の維持補充
- (3) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (4) 道標・説明板の見直しと更新
- (5) 民俗資料の収集・公開・活用（古い農機具を利用した体験学習）

4、文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- (1) 広報「妻籠宿」及び事務局便りの発行配布
- (2) 第57回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
- (3) 第47回「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
- (6) 妻籠及び木曾に相応した文化の伝承と開発・研究

5、文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- (1) 保有山林地の維持管理（スナジ地籍・西山・尾又地籍）
- (2) 休耕地の景観整備

- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ・イロハモミジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備

- (4) 妻籠城址の環境整備

- (5) 外来動植物の駆除

6、重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託および支援事業

- (1) 町営駐車場管理事業

- (2) 旧妻籠中学校周辺の管理

7、関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曾風景街道推進協議会との協働活動

- (2) 関係団体との交流（国内外）

- (3) 妻籠観光協会との協働活動

8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備

- (2) 取得資産の有効活用

令和6年度 妻籠分館行事予定

・運営委員会・会計監査	4月 7日（日）
・役員年度始め総会	4月14日（日）
・環境整備	5月19日（日）
・環境整備	6月16日（日）
・和智楚大祭準備手伝い	7月14日（日）
・和智楚大祭子供神輿	7月23日（火）
・育成部行事（夏休み）	8月 4日（日）
・環境整備	8月25日（日）
・敬老会お手伝い	9月第2日曜日頃
・環境整備	9月29日（日）
・中山道ウォーキング （田立の滝?）	詳細未定
・木曾郡公民館大会 （木曾文化公園ホール）	11月17日（日）
・しめ縄をつくる会	12月15日（日）
・町公民館大会	2月 9日（日）
・分館交流スポーツ大会	2月23日（日）
・文化祭の準備	3月22日（土）
・文化祭	3月23日（日）

*そば打ち講習会 月2回

*ソフトバレーボール 週2回

*二胡教室 月2回

※各団体への参加希望につきましては分館主事までお気軽にお問合せください。

妻籠宿案内人の会会長 松瀬 康子

雪まじりの冷たい雨の中、木曾風景街道推進協議会主催「岡谷蚕糸博物館・下諏訪宿、諏訪大社下社春宮・万治の石仏、諏訪大社下社秋宮」視察研修会が行われました。木曾各地より総勢18名です。

まず、岡谷蚕糸博物館の見学。そして下諏訪にて昼食をいただき、諏訪大社下社春宮を参拝。そして、万治の石仏に『万（よろず）おさまりますように』と願い、石仏を三周し『万おさめました』と唱えました。春宮建立時の逸話にこの石仏と石工さんの信じがたい話があり、万の神々の国を感じました。そして、諏訪大社下社秋宮を参拝し、塩羊羹を買い求め帰ってまいりました。

岡谷蚕糸博物館では、職員の方から展示物を見ながら近代産業の功績を伺い、この木曾にも養蚕の仕事をしてきた方々がいらしたと、また、岡谷の蚕糸工場に働きに来ていた女工さんの話なども重ねたり、時代は遡り私の祖母の女工をしていた話を思い出しました。百円女工であったという祖母の話は、本当にあったことなんだと思うと、祖母が惚れます。百円の給金を持って親元に帰ると盗んだのではないかと言われたという話です。明治大正昭和を生き抜いた女性のたくましさを感じ、また、一世を風靡した蚕糸産業も時代の移り変わりにどう対応していったか人々の考えや進む姿、その一方、歴史文化遺産をきちんと守り伝えてゆく努力をしていること大変感銘を受けました。伝統的（歴史景観）町並みと文化の継承に改めて努めてゆかなくてはと思ったところです。努力を怠れば消えてゆく。歴史がそれを証明しているようでした。



〈諏訪大社下社春宮〉

万治の石仏が全国に名が知れたのは、「太陽の塔」の作者岡本太郎氏が絶賛したことによるとの話です。春宮建立時、石工さんが刃物を立てた時、赤い血が流れてきたのでそこに祀ったというのです。不思議を感じますが、神様はなにを思っていたことなのでしょう。



〈万治の石仏〉



〈岡本太郎直筆句碑〉



〈岡谷蚕糸博物館と諏訪大社下社秋宮〉

一石栃立場茶屋アラカルト!

理事長 藤原 義 則

昨年度（令和5年）中山道の通行量が、愛する会が統計を取って以来最高値をカウントしました。過去最高であった令和元年度の56,800人を2,000人ほど上回る59,200人でした。又来訪国、地域は112ヶ国となりコロナ前82ヶ国を大幅に上回り国際観光拠点のメッカを自負出来るデータを収集できました。

昨年度末から当年度初めにかけて、「一石」の地名入りの飴5,000個限定で名古屋のメーカーに特注で手配しサービスしております。

第3駐車場から発電所前までの通行止めも歩行者は通行できるようになりました。又男滝上の中山道も災害にて通行止め箇所となっていました但復旧し、車道を歩かなくてもよくなりました。ハイカーは安心して従来のコースを楽しめます。

下り谷集落の迂回路は現在復旧工事を行っており、今しばらくは西尾宅裏の迂回路回りとなります。今までの諸先輩の景観保全の努力に感謝です。

妻籠宿の評価 Wonderful・Beautiful・Excellentにガッカリの落ちがつかないように努力しないと。





英語クラスを開催して



奥ジャパン(株)妻籠支店 窪美範子

1年程前、みんなで作業をしていた時、「奥ジャパンで英語を教えて欲しい」と声をかけてもらいました。私自身もっと話せたらな。。。と日々思っていたこともあり、京都本社からネイティブを呼べばいいのでは？と思いつきました。機会あるごとに「英語クラスをやりたい」と本社のスタッフをお願いしていたところ、許可が出たため、第1回目の英語クラスが開催するはこびとなりました。

せっかくなので、本社社員にも氷雪の灯祭りを見てもらいたいと思い、日程は2月の第3週目に。ネイティブのアメリカ人女性と日本人女性、合計2名の社員が約1週間妻籠に滞在しました。その間、妻籠町並み交流センターで1回、こづちやさんとのコラボ企画「お茶しながら英会話」は2回開催、その他、お宿さんで1回、カフェで1回と有難くも合計5回開催でき、延べ17名の方にご参加いただきました。

事前に参加予定の皆さんから、こんなことを聞いてみたい等のヒヤリングをしたところ、蕎麦や五平餅のメニューの説明・接客に使えるフレーズ・道を聞かれた時・落とし物に気づいた時にお客様へ声掛けしたい時・フレンドリー過ぎない言葉遣い・囲炉裏、自在鉤の説明・心の底からの申し訳ない気持ちを伝えるフレーズ・言われて嬉しいフレーズ・使わない方がよい単語等、実際にお客様と接している方達からのリアルなリクエストがたくさんありました。

クラスの内容は、初めにインバウンド客への対応の心構え、文化の違い等を説明。ヒヤリングしていたリクエストを基にロールプレイで繰り返し声に出し練習という流れでした。日本人に英語を教えた経験もあるアメリカ人社員が繰り返し、イントネーションも変えて声に出して言うのが大切と言っていたのが印象に残りました。実際、日本語も流暢に話せる彼女は日本語もそうやって覚えたそうです。

参加者からのアンケート結果を見ると、「楽しかった」、「リラックスして勉強できた」、「質問が沢山出来て良かった」、「必要なフレーズを沢山教えてもらって良かった」、「すごく有意義でした。次もまたやっていただける様でしたら、是非お願いします。自分でも英会話学ばなきゃなと良い刺激を受けました」等、嬉しいことをたくさん書いていただいて、講師の社員も大変喜んでおりました。

また、氷雪の灯祭りの灯りがとても綺麗だと感動していたり、お宿さんで囲炉裏を見せていただいたり、お宿さんやカフェで英語クラスを開催することで困っていることを直接聞くことができたりと、社員にも有意義な一週間になりました。

この度は、こづちやさんをはじめ、色々な方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。講師の2人も楽しかった！また来ます！と言っていたので、第2回目の英語クラスも開催出来たらと思っております。今回、ご参加いただけなかった方からも英語クラスのテキスト配布の希望がありました。ピークシーズンに入り、まだ完成していませんが、もう少しお待ちください。今後とも、よろしく願いいたします。



〈消火栓点検〉

総務委員長 今井啓文

昨年秋に予定していた大井水消火栓の点検作業は、天候不順のせいで順延となり、3月7日、まだ寒さの残る朝でしたが、財団、妻籠観光協会、教育委員会の協力を得て行いました。

川の水を利用していますので、例年のごとく最初は茶色の泥水が出てくる事が多く、透明になるまで泥抜きする繰り返しですが、今年もハンドルが回らなかつたり、収納箱の不備があったり、改善されないままの状態なのが気になります。

大井水、水路の老朽化があり、宿場内道路改良と共に消火栓も水道に変わる事になっており、その作業も始まりましたが、白川郷の様に何機か水中銃を増やし、防災の日には一斉に放水出来るようにならないかと思ったり…。

いずれにせよ、江戸時代の景観を保存し、看板やのれんなど細部にこだわった様に、消火栓も色を黒くしたり、収納する箱を設置したりしているわけですが、新しく水道に繋がれても変わる事なく町並みに溶け込む消火栓になる事と思っております。作業に協力していただきました皆様に、感謝いたします。

宿 場 暦

- 2月 1日：氷雪の灯祭り実行委員会（常務）、
長野朝日放送撮影
3日：第46回妻籠冬期大学講座（56名参加）、
三役会
13日：妻籠宿連絡調整会議（博物館・2名）
16日：氷づくり（木曾町・常務）
17日：第15回氷雪の灯祭り
19日：木曾風景街道推進協議会てんぐ巣病駆除
作業（蘭・3名）
20日：統制委員会、広報「妻籠宿」149号発行
観協お雛様飾りつけ準備（ふれあい館）、
木曾地域文化遺産活性化委員会（木曾町・
理事長）
21日：空き家対策特別委員会
22日：日本風景街道大学菜の花田原キャンパス
（田原市・理事長）
27日：妻籠地区地域振興協議会役員会
3月 4日：木曾風景街道推進協議会中山道研修
（諏訪市他・愛会より8名参加）
7日：消火栓点検（総務委員会主催・15名参加）
8日：三役会
9日：一石柘薪運び作業
11日：理事会
12日：妻籠観光協会三役会（常務）、撮影許可
審議委員会
13日：信越放送撮影
14日：ナショナルトラスト理事会（東京・理事長）、
妻籠宿保存地区保存審議会（博物館・常務）
15日：JR 東海リニア中央新幹線妻籠地区工事説
明会
19日：撮影許可審議委員会、広報部会
21日：一石柘立場茶屋水質検査
22日：統制委員会
25日：評議員会、撮影許可審議委員会
26日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会
（理事長・常務）
28日：木曾谷狼煙あげ連絡会（木曾町・理事長）
29日：三役会
4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付
2日：NHK ワールド撮影
3日：倉科様祭礼（役員参拝のみ）、撮影許可
審議委員会
4日：観協おひな様作業（常務）、
TAOYA 木曾路撮影
8日：撮影許可審議委員会
10日：BS11 撮影、GREGORY 撮影
15日：子安観音祭礼（役員参拝のみ）、
妻籠宿案内人の役員会
16日：名古屋テレビ撮影

景観保持のため、宿場内での路上駐車は
やめましょう！

- 17日：氷雪の灯祭り実行委員会反省会
19日：南木曾茶道部（一石柘立場茶屋）
22日：統制委員会、撮影許可審議委員会、
オランダテレビ局撮影
23日：会計監査、広報部会
24日：日本遺産木曾路事業検証・検討部会
（木曾文化公園・理事長）
25日：テレビ愛知撮影
26日：評議員選定委員会
27日：日本テレビ撮影
30日：妻籠地区地域振興協議会役員会

統制委員会審議事項

- 2月20日
・護岸改修工事（尾又：建設事務所） 1件
・車庫除却（恋野：個人） 1件
・屋根保護塗装（中町：個人） 1件
・保線路階段の補修（西山：関電） 1件
・鉄塔敷地の保護工事（吾妻橋：関電） 1件
[その他]
・史跡中山道災害復旧工事期間延長（教委）
3月22日
・庇屋根修繕（尾又：個人） 1件
・仮支線新設工事（下り谷：TOSYS） 1件
・群状択伐（馬籠峠・橋場・城山：関電） 3件
・筍伐採（妻籠地区全域：関電） 1件
・東屋の設置及び公衆トイレの塗装
（滝上：木曾建設事務所） 1件
・引込線新設（下り谷：中電） 1件
・引込線張替（大妻籠：中電） 1件
・うだつ等修繕（中町：R6年度重伝建補助事業） 1件
・延命地藏堂屋根修繕
（寺下：R6年度重伝建補助事業） 1件
・災害復旧工事（馬籠峠滝上：教委） 1件
・倉庫設置（妻籠分館：町） 1件
・車庫新築（恋野：個人） 1件
4月22日
・KDDI 携帯無線基地局の新設工事
（細野山：KDDI） 1件
・防護柵の設置（町営第1駐車場：町） 1件
・竹林整備（橋場：個人） 1件

【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行：公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

下町 磯村 琢 弥

今回は古中山道跡を紹介します。昔の中山道は尾又で蘭川を渡って、左岸を歩いたそうです。ただ今回歩き始める場所までどう繋がっていたのかは、法務局の地図からはわかりません。地図に残っている古中山道の入口は、256号線から分かれて細野山へ行く道の途中にあります。

大きな屋外タンクを過ぎて少し行くと、左に石積護岸壁がありすぐに切れてしまうのですが、ここが古中山道入口になります。



〈右が砦跡、左が櫓跡〉



〈ここから入ります〉



〈上の方に大島仁右衛門屋敷跡〉



〈ここから出ます〉

なんでも昔この古中山道を護岸工事で塞ぐことに反対の方がいたそうで、今でもぽっかり隙間があります。ここから入って水路の左を少し歩いて水路を跨ぎ、右に直角に曲がります。しかし、いきなり道が数メートル程わからなくなります。一段上の田んぼの畦道が斜めに下りてきていて、少し奥に見える道と繋がっています。畔の下段に細く残っているのかもしれませんが、ここはよくわからないので256号線へ戻って反対側から歩き始めます。

ここからは舗装され普通に車も通れます。この道は現在まで、相当長い間利用されてきているようです。音吉を過ぎて少し行くと、右に本郷丸山砦、左に櫓のような小山がありその間を通って行きます。

この先の田んぼの上に溜池があって、横に大島仁右衛門屋敷跡があるそうですが、まだ見に行ったことはありません。最後の田んぼを通り越すと沢に出ます。もっと昔はこの沢沿いを上流へ向かって歩くと、大妻籠の上平に出たそうですが、さすがにその道は法務局の地図にはありません。少し奥の方を見に行ったのですが、険しくてどこをどう歩いて上平へ登ったのか見当もつきませんでした。さて沢を渡ると右上に車が通れない細い道があります。ここを歩いて行くと消火栓があり、現在の中山道に繋がります。



〈右の細い道へ〉

今回はほとんど車道で、あっさりと探索が終わってしまいました。次回は小高取に挑戦します。